



No.1

## 孫からの贈り物

ひらた のりゆき

平田 則之

撮影日 / 令和6年8月16日

撮影場所 / 自宅マンション内

(コメント)

東京と福岡に住んでいる孫が仲良く手をつなぐ様子を見ると元気をもらえます。

### 【選評】

遠方から遊びにきた孫の元気な姿に、目尻を下げない人はきっといないでしょう。そんな子どもたちの姿を、あえて少し距離を置き、さらに後方からそっとレンズを向けて撮影したところに何だか好感を持ちました。廊下の奥行きが構図全体を引き締めています。子どもたちが歩む未来へ、こんな視線で見守り続けるのだろうと思うと、なんだかこちらも感動です。



No.8

## 光芒ハンターⅡ

もりぐち しょういち

森口 正一

撮影日 / 令和6年7月29日

撮影場所 / 菊池渓谷

(コメント)

暑さ凌ぎに森林浴。出来ることなら光のシャワーを浴びながらと思い立って訪れた7月末の菊池渓谷で切り取ったワンカットです。当初予定していた場所には、既に多くのカメラマンが列をなして立錐の余地もなく、少し離れた対岸から目にした、降り注ぐ光芒の中に浮かび上がったカメラマン(光芒ハンター)です。

### 【選評】

熊本・菊池渓谷にて撮影された作品に思わず見入ってしまいました。降り注ぐ光のシャワーと川のせせらぎとが、まるで聞こえてくるようなハイクオリティーな画質です。光量の少ない暗部のディテールから、渓谷を覆う木々を照らす光のバランスが絶妙で、確かな撮影技術を感じさせる作品に仕上がっていると思いました。



No.15

## 柿の楽譜

すが さあや

菅 沙綾

撮影日 / 令和7年11月4日

撮影場所 / おばあちゃんの家

(コメント)

果物の中では苦手な柿だけど、  
おばあちゃんがつくった柿なら食べられます。

### 【選評】

着眼点が光る秀作と思いました。普通ならきっと見落としてしまうような、何気ない窓辺の干し柿の光景です。しかし、連なり並ぶ「柿」を、五線譜の「音符」になぞらえ、作品タイトルに「楽譜」を付けてくるところに、絵心以上に詩的なセンスを感じました。決して派手さはないが、名映画には欠くことのできない名脇役のような、確かな存在感を放つ作品です。



No.33

空殻

くぼ はやと

久保 颯人

撮影日 / 令和6年12月31日

撮影場所 / ウジジ浜

(コメント)

殻は空っぽでも、その中に本当のぬくもりがあることを表した作品です。

### 【選評】

不思議な世界観です。被写界深度を浅くして背景の砂地をボカすことで、ピントを合わせたカニの甲羅が見る者を引きつけ、訴求力を高めています。白く脱色した亡き骸(がら)は時間の経過を象徴しますが、そこに手が添えられることで、作者が意図した「ぬくもり」が垣間見えます。とても叙情的なセンスを感じさせる仕上がりです。



No.41

笑顔

いそべ ゆいか

磯部 唯花

撮影日 / 令和5年5月27日

撮影場所 / 家

(コメント)

いところにカメラを向けたら近づいてきて、  
ちょうどピントが合って撮れた写真です。

【選評】

日本を代表する写真家・アラーキーこと  
荒木経惟さんの不朽の名作「さっちゃん」  
を連想させるような無邪気で素敵な作  
品と思いました。作者のコメントには、  
「近づいてきてちょうどピントが合って  
撮れた」。おでこが構図からはみ出した  
ままの大胆なトリミングに、撮る者と撮  
られる者との良好な関係性、距離感にも  
興味を抱かせる秀作です。